令和3年度　情報

学校番号	2001

教科	科目	必修／選択	単位数	指導学年
情報	社会と情報	必修	1+1	第1年次前期・後期

教科書・副読本・問題集 No.	分類	教材名
①	教科書	新・社会と情報
②	自作教材	プリント
③	教科書	情報のノート　新・社会と情報（副読本）
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		

学習の到達目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解し、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を培い、情報社会に積極的に参画する態度を身につける。

教科からのメッセージ（学習方法 等）

前期は主に基礎的な知識理解と技術の習得をめざし、後期は前期で身につけた知識と技術を用いて自分で考え、表現する学習を行います。講義と実習を行い、小テスト、課題、実習への取り組みで評価します。実習では情報機器の操作だけでなく、コミュニケーション能力の育成のため、グループワークを行います。

特記事項

必履修科目。「社会と情報」または「情報の科学」を卒業までに必ず履修しなければならない。

学習評価（評価規準と評価方法）

観点		観点の趣旨	主な評価方法
A	関心・意欲・態度	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために，情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。	授業態度、実習課題等
B	思考・判断・表現	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために，情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、試行を深め，適切に判断し表現している。	小テスト、実習課題、プレゼンテーション等
C	技能	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身に付け，効果的にコミュニケーションを行っている。	実習課題、プレゼンテーション等
D	知識・理解	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身につけ，情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。	小テスト、実習課題
E			

年間（学期間）指導計画

学期	期間	教材	単元	配当時間	学習内容	評価観点	単元目標（CAN-DO）／単元（題材）の評価規準	主な学習活動	主な評価方法	評価
前期	4月・5月	① ②	情報社会に生きるわたしたち	12	身のまわりの情報について振り返る(AB) 他己紹介プレゼンテーションを行う(BC) 様々なメディアの種類とその特徴を知る(BD)	A B C D	様々な情報を主体的に受信し、信憑性や意図を踏まえて自ら判断する力を獲得する。(AB) 情報機器や通信サービスを課題解決の手段として使いこなす力を獲得する。(BC) ディジタル化やネットワークなどに関する知識を得、仕組みを理解する。(BD)	基本操作実習 プリント記入 プレゼンテーション実習 グループワーク	授業態度 実習課題 プレゼンテーション 小テスト プリント等提出物 ふりかえり	5 4 3 2 1
	5月・6月	① ②	情報社会に生きるわたしたち 情報社会とディジタル技術	12	情報のディジタル化の仕組について理解する(BCD) 情報通信ネットワークを利用したコミュニケーションについて知る(ABD) 情報社会における権利について知り態度	A B C D	様々な情報を主体的に受信し、信憑性や意図を踏まえて自ら判断する力を獲得する。(AB) 情報機器や通信サービスを課題解決の手段として使いこなす力を獲得する。(BCD) ディジタル化やネットワークなどに関する知識を得、仕組みを理解する。(ABD)	情報のディジタル化講義 プリント記入 スケジュール作成実習 グループワーク	授業態度 実習課題 小テスト プリント等提出物 ふりかえり	5 4 3 2 1
	8月・9月	① ②	情報社会とディジタル技術	12	情報通信ネットワークの仕組を知る(ABC) メディアごとのコミュニケーションの特徴について理解する(BD) 新聞を題材にメディアリテラシーについて考える(BD)	A B C D	様々な情報を主体的に受信し、信憑性や意図を踏まえて自ら判断する力を獲得する。(ABC) セキュリティや個人情報、著作権など情報社会で生きるモラルやマナーを獲得する。(BD) ディジタル化やネットワークなどに関する知識を得、仕組みを理解する。(BD)	プリント記入 メディアリテラシー実習 グループワーク	授業態度 実習課題 小テスト プリント等提出物 ふりかえり	5 4 3 2 1
後期	10月・11月前半	① ②	情報社会とディジタル技術 情報社会と情報システム	12	情報通信ネットワークと分かりやすい表現方法を用いたプレゼンテーション(ABC)	A B C D	様々な情報を主体的に受信し、信憑性や意図を踏まえて自ら判断する力を獲得する。(ABC) 課題に対してグループで役割分担し、コミュニケーションをとりながら解決する力を獲得する。(ABC) 情報機器や通信サービスを課題解決の手段として使いこなす力を獲得する。(BC) セキュリティや個人情報、著作権など情報社会で生きるモラルやマナーを獲得する。(AB) ディジタル化やネットワークなどに関する知識を得、仕組みを理解する。(D)	おすすめのもの紹介プレゼンテーション 知的財産と著作権プレゼンテーション プリント記入 グループワーク	授業態度 実習課題 プレゼンテーション 小テスト プリント等提出物	5 4 3 2 1
	11月後半・12月	① ②	情報社会と情報システム	12	情報システムを用いたデータ比較を行いそれを発表する(ABC) 情報キュリティ対策、社会で使われるシステムについての知識を得る(ABCD) ビッグデータやアルゴリズムを扱う実習	A B C D	様々な情報を主体的に受信し、信憑性や意図を踏まえて自ら判断する力を獲得する。(AB) 課題に対してグループで役割分担し、コミュニケーションをとりながら解決する力を獲得する。(BC) 情報機器や通信サービスを課題解決の手段として使いこなす力を獲得する。(ABC) セキュリティや個人情報、著作権など情報社会で生きるモラルやマナーを獲得する。(ABD)	数値データのグラフ化実習 世界と日本比較紹介プレゼンテーション サイバー犯罪とセキュリティプレゼンテーション プリント記入 グループワーク	授業態度 実習課題 プレゼンテーション 小テスト プリント等提出物	5 4 3 2 1
	1月・2月	① ②	情報社会と問題解決	12	情報社会に関するニュースを掘り下げて調べ、自分たちができることについて発表する(ABCD) 情報社会における課題と問題解決について考える(AB)	A B C D	様々な情報を主体的に受信し、信憑性や意図を踏まえて自ら判断する力を獲得する。(AB) 課題に対してグループで役割分担し、コミュニケーションをとりながら解決する力を獲得する。(BCD) 情報機器や通信サービスを課題解決の手段として使いこなす力を獲得する。(BC) セキュリティや個人情報、著作権など情報社会で生きるモラルやマナーを獲得する。(AB) ディジタル化やネットワークなどに関する知識を得、仕組みを理解する。(D)	シミュレーション実習 情報社会に関するニュースを掘り下げプレゼンテーション プリント記入 グループワーク	授業態度 実習課題 プレゼンテーション 小テスト プリント等提出物 ふりかえり	5 4 3 2 1